

長谷エグループの「マテリアリティ（重要課題）」を再特定 —事業を通じたさらなる価値創造に向けて—

2026 年 7 月 23 日

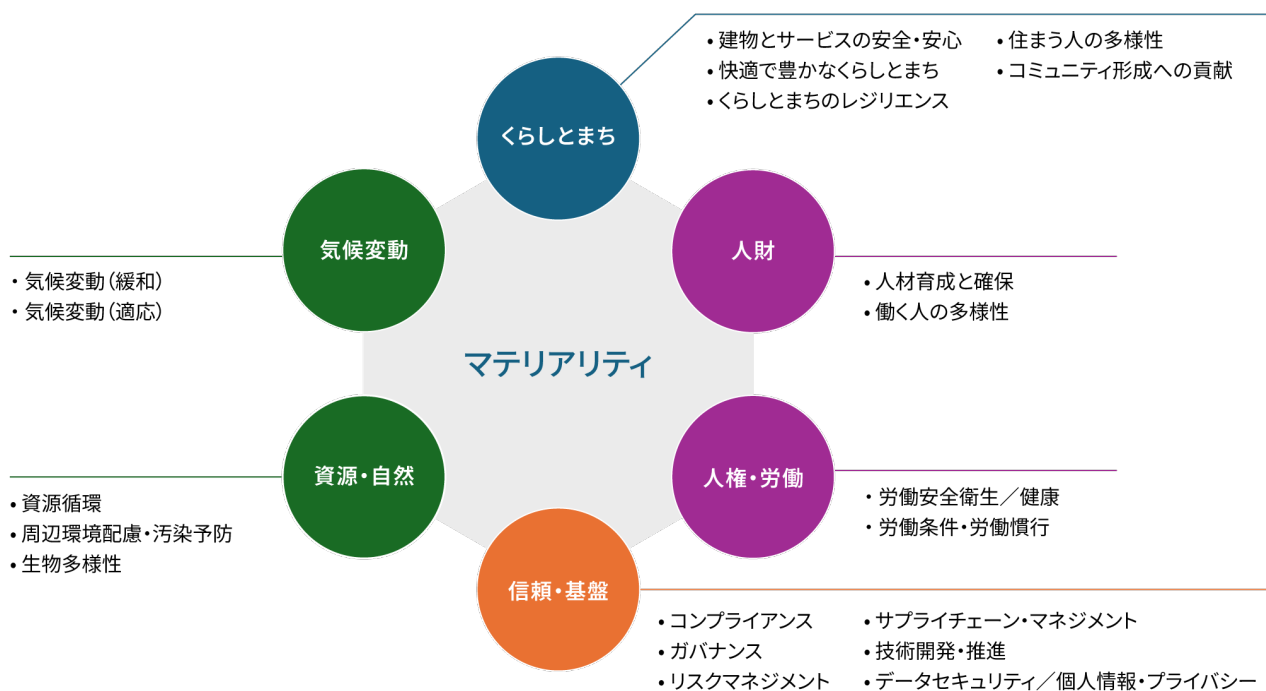
長谷エグループは、2026 年 7 月、マテリアリティ（重要課題）を見直し、再特定しました。

当社グループは、「都市と人間の最適な生活環境を創造し、社会に貢献する。」という企業理念のもと、「住まい」と「暮らし」のリーディングカンパニーとして、事業活動を通じた社会課題の解決と持続的な企業価値向上に取り組んでいます。

近年、気候変動や資源循環、生態系保全などの環境課題に加え、人口動態の変化、高齢化の進行、災害・防災対応、ライフスタイルの変化など、暮らしを取り巻く社会課題はますます複雑化・高度化しています。また、当社グループは 2025 年 4 月に中期経営計画「HASEKO Evolution Plan」を策定し、経営基盤強化に向けた施策の一つとして「サステナビリティへの取組みの深化」を掲げています。

こうした経営環境の変化を踏まえ、事業との連動性をより高め、さらなる価値創造につなげていくこと目的に、従来のマテリアリティを見直し、「機会の創出」の視点を強化した **6つのマテリアリティと 20の取組み課題**へと再整理しました。

【6つのマテリアリティと 20の取組み課題】



特定プロセスでは、従来のマテリアリティをベースとしつつ、国際的なガイドラインやイニシアチブ、ESG 評価機関の評価項目、業界動向などを参照し、社会・環境課題と当社グループの事業との関係性を整理しました。また、経営トップへのインタビュー、当社グループ経営層へのアンケート、外部有識者の意見などを踏まえ、社会へのインパクトと事業へのインパクトの両面から重要課題を評価し、サステナビリティ委員会での審議・承認および取締役会への報告を経て、長谷工グループのマテリアリティとして特定しました。

今後は、マテリアリティへの取り組みを「サステナビリティ行動計画」と連動させることで着実な進捗を図り、事業を通じた社会課題の解決と、さらなる価値創造につなげてまいります。

詳細は、以下のページをご参照ください。

- [サステナビリティの考え方](#)
- [私たちが大切にしている 4 つの取り組みテーマ](#)

以上